

表2 特別会計

特定の収入により事業を行う国民健康保険や下水道など、一般会計と区分して経理している会計です。執行済額が収入済額を上回っている会計がありますが、平成24年度決算においては収入済額が執行済額を上回る予定です。

表2

区分	歳入予算現額	収入済額	収入率	歳出予算現額	執行済額	執行率
国民健康保険	182億5,589万円	162億4,429万円	89.0%	182億5,589万円	167億1,688万円	91.6%
介護保険	74億7,975万円	62億1,888万円	83.1%	74億7,975万円	66億8,713万円	89.4%
後期高齢者医療	12億5,352万円	12億7,253万円	101.5%	12億5,352万円	11億8,880万円	94.8%
下水道事業	53億3,301万円	37億7,906万円	70.9%	53億3,301万円	39億4,192万円	73.9%
農業集落排水事業	6億8,279万円	5億7,102万円	83.6%	6億8,279万円	5億9,451万円	87.1%
土地区画整理事業	5億9,316万円	4億3,628万円	73.6%	5億9,316万円	4億8,315万円	81.5%
土地取得	3,673万円	3,673万円	100.0%	3,673万円	3,673万円	100.0%

表3 水道事業会計

水道料金を主な財源として、上水道供給のために使われる経費を計上した会計で、民間の会計制度を取り入れた独立採算の企業会計です。

表3

区分	収入			支出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	執行済額	執行率
収益的収支	37億7,248万円	38億1,000万円	101.0%	31億9,149万円	30億6,150万円	95.9%
資本的収支	1億8,912万円	1億9,397万円	102.6%	19億5,149万円	14億6,711万円	75.2%

※収益的収支とは、水道料金などの収入ならびに配水のための電気料金や浄水にかかる経費および人件費などの水道事業の管理・運営に関する収支です。

※資本的収支とは、新しい水道管の布設や古くなった水道管の布設替工事などの施設の建設・改良などに関する収支です。

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費などの現金を伴わない費用などで補てんしました。

図1 市債の状況

公共施設整備などを行うために、借り入れたお金の残高を表しています。

昨年度よりも約11億8,000万円の減となりました。今後も市債残高の圧縮に努めていきます。

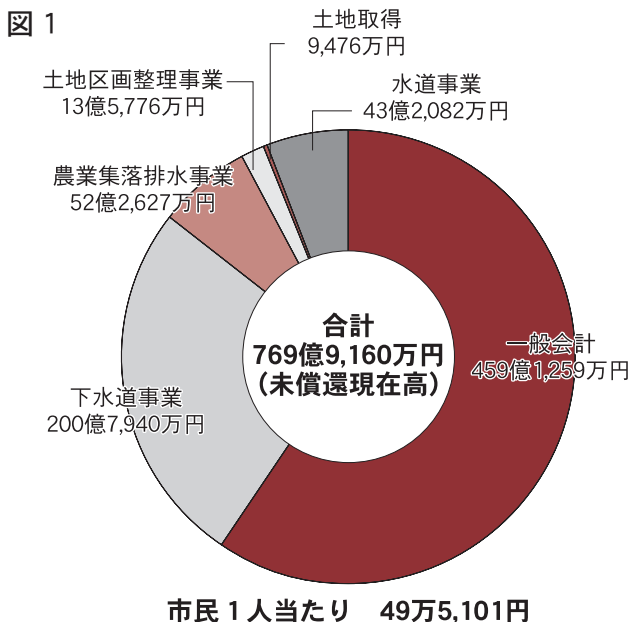
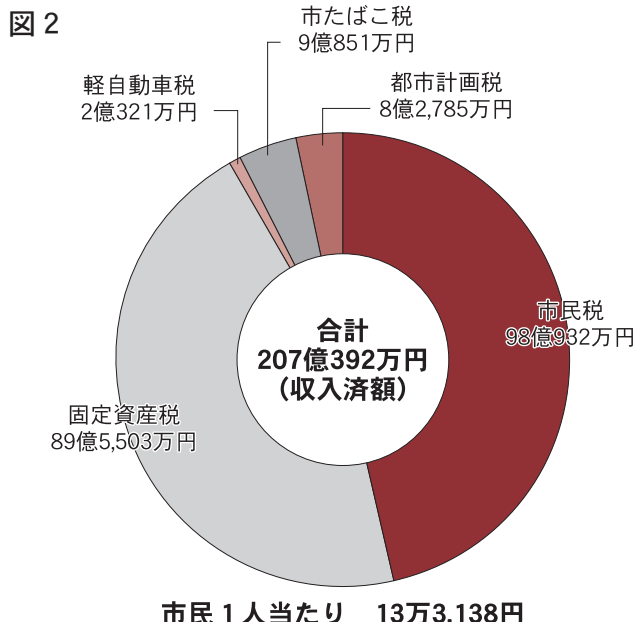


図2 市税の状況

市民の皆さんに納めていただいた市税の内訳を表しています。

全体で昨年度よりも約700万円 (0.3%) の減となっており、市民税と固定資産税が全体の90.6%を占めています。



※市民1人当たりの額は、人口155,507人 (平成25年3月31日現在) で算出しています。